

協同組合日本イラストレーション協会 御中

JILLA Webサイト ヒューリスティック評価レポート

合同会社世路庵 | 2026.07.16 THU



1

前提条件

Assumptions

ヒューリスティック評価の流れ

ユーザビリティ(使いやすさ)を評価するため、想定したシナリオを元に問題なく操作ができるかどうか、希望した結果が得られるかどうか、を定性的な視点から評価し、具体的な改善アイデアを加えてレポートします。

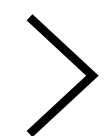
	シナリオ定義	評価	レポート
概要	サービスのターゲットとシナリオを明確にし、コミュニケーションのあるべき姿を定義します。	評価対象と評価項目を通して現状のサービスをシナリオに沿って定性的に分析・評価し、課題を抽出します。	抽出された課題に対して、改善施策を加えたレポートを作成します。
タスク	プロジェクト定義 ユーザーモデリング ユーザーシナリオ定義	評価対象設定 評価項目定義 認知的ウォークスルー	改善施策の立案 レポート作成

実施概要

実施日	2026年4月～7月
評価者	沖 良矢、小山 樹人、奈良 葵（合同会社世路庵）
対象サイト	JILLA Webサイト（jilla.or.jp）、JILLA Gallery（jilla.gallery）
評価環境	Chrome（PC表示 幅1280px、スマートフォン表示 幅390px）
評価方法	4つの評価項目と利用シナリオに基づく専門家評価
参照資料	アクセス解析レポート、課題分析・改善提案レポート
対象外	上記課題分析、改善提案で指摘済みの課題については、重複を避けるため <u>評価後に除外</u> した

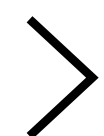
シナリオ定義

入会を検討する
(獲得)



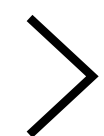
確定申告を機に文芸美術国民健康保険組合への加入を検討しているフリーランスのイラストレーターが、検索からサイトに到達し、入会条件と費用を理解して入会申込を完了します。

団体を比較する
(信頼)



複数の団体を比較している入会検討者が、JILLAの活動内容や実績を確認し、他団体との違いを理解して問い合わせに進みます。

会員が手続きする
(定着)



既存の会員が、会費や各種手続きの方法を調べて目的の情報にたどり着き、手続きを実施します。

作家を探して依頼する
(会員価値)



イラストの発注を検討している事業者が、JILLA Galleryで目的に合う作風の作家を見つけ、依頼の連絡手段にたどり着きます。

評価項目

ヒューリスティック評価のための視点やガイドラインは複数存在します※が、ユーザビリティやKPI達成のみに限定した評価になりがちなものも多いため、今回は以下の4つの評価項目と3つの重要度で課題を抽出します。

ビジュアルデザイン

プロダクトの性質・ブランドに合ったトーン&マナーで表現できているか。デザインの質は妥当か。視線誘導、可読性、色彩設計など、適切なビジュアル表現が実現できているか。

情報設計

ユーザー導線、サイト構造は適切に設計されているか。ナビゲーションの種類や量、質は妥当か。ページタイトル、見出し、コピー、本文、メタ情報の粒度や質は担保できているか。

コンテンツ

文章が予備知識なしで理解できるか。情報の鮮度、正確さは保たれているか。組織情報の開示や表記の質など、団体としての信頼感が伝わる内容になっているか。

目的達成

ビジネス要求を適切に達成できているか。ユーザーがストレスを抱えず操作でき、操作に対して適切なフィードバックがあるか。ユーザビリティ、アクセシビリティに配慮しているか。

重要度と難易度の定義

重要度は対応の優先度、難易度は対応にあたる作業負荷を示すレベル感として、3段階で評価します。

	重要度	難易度
高	ユーザーの目的達成を妨げる、または信頼を損なう課題。優先して対応します。	サイト構造や機能の変更を伴い、リニューアル規模の対応が必要です。
中	目的達成はできるものの、迷いやストレスを生む課題。改善すると体験が向上します。	複数ページやテンプレートの修正が必要です。
低	軽微な違和感や表記面の課題。ほかの改修とあわせて対応します。	文言修正やスタイル調整など、小規模な修正で対応できます。



評估結果

Evaluation results

評価サマリー（課題件数）

	重要度：高	重要度：中	重要度：低
ビジュアルデザイン	1	4	2
情報設計	2	4	2
コンテンツ	2	4	2
目的達成	2	2	1
合計	7	14	7

優先順位マップ

重要度 高↑

最優先で対応

- ・申込ボタンのスクロール条件の説明
- ・文美国保の旧手順が残る説明の刷新
- ・スマートフォンの申込導線の常時表示

計画的に対応

- ・文美国保の保険料情報の掲載
- ・メニューとQ&Aのキーボード操作対応
- ・トップのカルーセル表示崩れの修正
- ・申込ページ、フォームの見た目の刷新
- ・Galleryの作家一覧ページの追加

余力で対応

- ・誤字脱字の校正、ラベル表記の統一
- ・バナーのトーン統一、赤文字強調の整理
- ・ページ先頭へ戻るボタンの表記修正

対応を見送り・検討

- ・Adobe注文ページの公式ドメイン移設

※課題の詳細は評価シートを参照。件数の少ない象限は代表例のみ記載しています

難易度 高→



まとめ

Summary

評価の位置づけと次のステップ

- ヒューリスティック評価は、専門家がガイドラインと経験に基づいて行う評価であり、実際のユーザー行動の観察ではありません。
- 重要度の高い課題は、アクセス解析の定量データなどで裏付けることを推奨され、実際に抽出した課題は検証済みです。
- 評価結果は課題分析・改善提案レポートとあわせて、リニューアル要件(RFP)の根拠資料として活用します。
- 評価で確認できた良い点も記録しており、リニューアル時に強みが損なわれないように引き継ぐことを想定しています。

ceroanTM



担当:沖 良矢

oki.yoshiya@ceroan.co.jp